



クラシノソコアゲ応援団！2016RENGO キャンペーン通信

NO. 39 2015. 12. 25 発行責任者 連合北海道組織労働局

クラシノソコアゲ 応援団！紀伊國屋前にて街頭宣伝でスタート

連合北海道は、「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGO キャンペーン」として、2016年7月の参議院選挙までを取り組み期間として、政府が重きを置く、国・企業優先の立場ではなく、働く者・生活者の立場に立った「働く人が報われる社会」の実現を念頭においた社会的対抗軸の構築を、組合員だけではなく広く国民に訴える新たなキャンペーン行動をスタートした。

【4つの社会的対抗軸】

- ① 「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環！
- ② 安全・安心のセーフティネットの構築！
- ③ すべての人にディーセント・ワークを実現！
- ④ 健全な民主主義を取り戻そう！

キャンペーン第1ゾーンの取り組みとして、12月24日(木)12:00～12:45 札幌駅前の紀伊國屋書店前にて、組合員27名と共に、街頭宣伝行動を実施し、キャンペーン行動をスタートした。

最初に連合北海道の出村会長から、連合は、春季生活闘争の中で、多くの経営者団体への働きかけにより、企業全体の利益を公正に配分し大手と中小企業との賃金格差を是正すること。年収200万円以下の非正規労働者の底上げ、生活水準向上をめざす。年金・福祉の充実など、安全・安心のセーフティネットの確立、残業代ゼロ法案阻止、立憲主義と民主主義を脅かす安保関連法案の廃止などを通じた安倍暴走政権を変えていく必要性などを訴えた。

また、連合北海道の杉山事務局長からは、格差と貧困が広がる中であって、連合が働く皆さんのクラシノソコアゲ応援団となり、多くの課題にしっかりと向き合って取り組む決意を訴えた。

さらに、連合北海道の齊藤副事務局長、石狩地協の吉田事務局長からも、最低賃金1,000円への引き上げ、働く者が犠牲となる下請けいじめを撲滅させること。全国で年間1万6千件の連合労働相談を通じたブラック企業が後を絶たないことを例に挙げ安心して働くことができる社会の実現を訴えた。



連合北海道 出村会長



連合北海道 杉山事務局長



連合北海道 齊藤副事務局長



石狩地協 吉田事務局長



チラシを配布する様子

学習会の案内

「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環！

本部 須田総合局長を講師に **連合北海道「連合白書」学習会**

1月27日(水)18:15～19:45 自治労会館3階ホール(札幌 北区北6西7)